

京都市市民スポーツ振興計画のこれまでの取組状況

1 京都市市民スポーツ振興計画「スポーツの絆が生きるまち推進プラン」の概要

- (1) 策定年月 平成23年3月
 (2) 計画期間 平成23年度～令和2年度
 (3) 中間改定 平成28年3月

スポーツ基本法の制定と同法に基づくスポーツ基本計画の策定、ワールドマスターズゲームズ2021関西、東京2020オリンピック・パラリンピック等の大規模国際スポーツ大会の開催決定など、社会状況の変化を踏まえた中間見直しを実施

- (4) 内 容 京都市基本計画「はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン」（計画期間：平成23年度～令和2年度）の分野別計画として、平成23年度から10年間の市民スポーツ振興のための主要施策等を示したものの。

みんなで目指す10年後の姿		
1. それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツを楽しんでいる	2. トップレベルのスポーツに身近に触れられている	3. 多様なスポーツ活動を支え合い、ひとつひとつがつながっている



柱1 するスポーツ それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり	柱2 みるスポーツ 様々なタイプのスポーツイベントに身近に触れられているまちづくり	柱3 支えるスポーツ 多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり
3つの重点戦略		
「スポーツインフラ京都」－ハードウェア－ スポーツ資産の共有，市民のスポーツ活動に応じた施設の充実・整備・運営		
「スポーツウェブ京都」－ソフトウェア－ スポーツ情報を身近なものに，容易に入手できるものに		
「スポーツリエゾン京都」－ヒューマンウェア－ 京都市スポーツの絆が生きるまち推進会議の展開		

2 これまでの取組状況

(1) 主な取組状況

⇒ 現計画に掲げる47事業は全て着手済み（資料4参照）

(2) データで見る市民スポーツ振興の状況

現計画の数値目標	週1回以上運動やスポーツをする市民の割合 目標値：65%以上（R2年度）	48.4% （H22年度） ※計画策定時調査値	▶	53.2% （H27年度） ※計画改定時調査値	▶	42.5% （R1年度） ※京都マラソン調査値	
	市内で直接スポーツを観戦した市民の割合 目標値：50%以上（R2年度）	24.4% （H22年度） ※計画策定時調査値	▶	38.2% （H27年度） ※計画改定時調査値	▶	35.8% （R1年度） ※京都マラソン調査値	
	スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合 目標値：10%以上（R2年度）	3.1% （H22年度） ※計画策定時調査値	▶	4.4% （H27年度） ※計画改定時調査値	▶	3.8% （R1年度） ※京都マラソン調査値	
参考数値	する	スポーツ施設利用件数 （文化市民局が所管するスポーツ施設の利用件数）	330,851件 （H22年度）	▶	369,993件 （H27年度）	▶	369,112件 （R1年度）
		市民スポーツフェスティバル参加者数	7,710人 （H22年度）	▶	7,287人 （H27年度）	▶	6,734人 （R1年度）
		京都マラソン応募者数 ※〈〉は抽選対象者のうち京都市民の内数	49,984人 〈6,777人〉 （H24第1回）	▶	61,523人 〈7,306人〉 （H27第4回）	▶	60,514人 〈6,784人〉 （R2第9回）
	みる	プロスポーツ・全国規模大会の開催日数	111日 （H22年度）	▶	131日 （H27年度）	▶	148日 （R1年度）
		京都マラソン応援者数	約503,000人 （H24第1回）	▶	約500,000人 （H27第4回）	▶	約427,000人 （R2第9回）
	支える	市主催事業のボランティア参加者数	1,622人 （H22年度）	▶	9,837人 （H27年度）	▶	8,714人 （R1年度）
		スポーツ推進指導員数	570人 （H22.4.1）	▶	562人 （H28.4.1）	▶	546人 （R2.4.1）
	その他	京都マラソン経済波及効果	40億8,300万円 （H24第1回）	▶	45億9,400万円 （H27第4回）	▶	42億7,600万円 （R2第9回）